

第 518 回物性セミナー

アンモニアの発電利用に関する事業性評価

講 師 谷川 博昭

(中国電力(株)エネルギー総合研究所

総合エネルギー技術グループ マネージャー)

日 時 2018 年 2 月 22 日 (木) 16:10-

場 所 先端物質科学研究科 302S

内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム（以下、SIP）において、社会的に不可欠で、日本の経済・産業競争力にとって重要な課題の一つとして「エネルギーキャリア」が取り上げられた。SIPは、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、基礎研究から実用化・事業化までを見据えて一貫通貫で研究開発を推進している。

本研究は、SIP「エネルギーキャリア」に関する委託研究課題「アンモニア直接燃焼」により実施したものである。

アンモニア直接燃焼技術は、CO₂削減技術として将来的に有望であり、当社は、水素輸送に優れるアンモニアの直接燃焼について研究を進めている。本研究では、火力発電所におけるアンモニアの発電利用に関する事業性評価に資するデータを取得することを目的として、水島発電所 2 号機（石炭火力、所在地：岡山県倉敷市、定格出力：15.6 万 kW）において、アンモニア混焼試験を実施したので、その成果を紹介する。

5 研究科共同セミナーの認定科目です

担当：小島 由継（自然科学研究支援開発センター）・内線 3904

【世話人】

高根 美武（内 7653） 浴野 稔一（内 6552）

松村 武（内 7021） 木村 昭夫（内 7471）

犬丸 啓（内 7741）

【広報担当】

稲垣（内 5720）

